

デザインカット コンテスト (概要)

部門概要

賞タイトル	テーマ	概要
サロンスタイル賞	最新サロン系スタイル	以下の定義に基づいて審査し、最も優れていると評価できる競技者に与えられる。 <ul style="list-style-type: none"> 一般のドッグオーナー様に提案する来年の一押しスタイル。 サロンで提供できる完済度と機能性を持ちつつ、流行性も兼ね備えた最新スタイル。 最も重視されるのは『一般共感性』。だれもが好印象を受けるスタイルが望ましい。 共感性を持たせつつ、如何に個性を表現するか？がポイント。
アーティスティック賞	最新アート系スタイル	以下の定義に基づいて審査し、最も優れていると評価できる競技者に与えられる。 <ul style="list-style-type: none"> とにかく、アーティスティックで誰にも真似できないような斬新なスタイル。 独自の新技法や高等テクニックが必要な表現など。 最も重視されるのは『独創性』。だれもがスゴいと思うインパクトのあるスタイルが望ましい。 自分のオリジナリティを如何に表現するか？がポイント。
チャンピオン	総合	・総合得点の最も高い、競技者に与えられる。
学生特別賞	学生限定	・上記の二つの賞に参加学生が一人も該当しなかった場合、最も優れていると評価できる学生競技者に与えられる。
ギャラリー賞	投票制	・観覧者の投票により、最も投票数の多い競技者に与えられる。

審査基準

	審査項目①(共通)			審査項目②(個別)	
	カット技術	基礎デザイン力	フェイスメイク	一般共感性	独創性
サロンスタイル賞対象者	30点	30点	10点	20点	10点
アーティスティック賞対象者				10点	20点
審査概要	<ul style="list-style-type: none"> 面の仕上がりに セニングワーク(ラフ面) 足周り・足裏等の基本箇所の処理 コーミングチェックの乱れ 	<ul style="list-style-type: none"> バランス ピフォー & アフター コンプレックスカバー 動いても崩れない 	<ul style="list-style-type: none"> バランス カット技術 印象 コンプレックスカバー 	<ul style="list-style-type: none"> だれが見ても好印象 一般オーナー様に提案できる 一般的に「カワイイ(カッコイイ)」 真似したくなる。勧めたくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰も考えつかないようなアイデア スゴ技 芸術性 斬新さ

ボーナス項目	
スピード	ドッグケア
マイナス15～プラス15点	マイナス15～プラス15点
<ul style="list-style-type: none"> 仕上がり時間の早さ。 規定時間を余して修了を宣言した出陳者には、順位ごとにBPを与える 	<ul style="list-style-type: none"> 負担の少ない接し方をしていること 骨格、関節を考えたボディコントロール コミュニケーションをとれていること

※BP=ボーナスポイント

注意事項

1)使用する道具は各自で用意し、競技中の貸し借りは禁止とする。(トリミングテーブルを除く)
2)カラーリングや装飾物(アクセサリ・エクステンション等)を事前に施す事は認められる。 ただし、事前の仕込みが過剰な場合審査に影響する場合がある。
3)カラーリングや装飾物は総合してモデル犬の全体の30%以内にとどめること。
4)カラーリングをモデル犬の顔(目・鼻・口)に危険と判断される箇所に施すことは禁止とする。
5)装飾物をモデル犬の顔(目・鼻・口)に危険と判断される箇所、または、関節等の動きに支障のある箇所に施した場合、 競技中に審査員の判断で取り外しをお願いすることがある。
6)装飾物はモデル犬が動く外れしてしまうもの、モデル犬の動きを制限し負担を与えるものは禁止とする。 明らかに過度な重量の有るものや危険と判断されるものはすべて審査員の判断で使用を止めていただく場合がある。
7)その他、整髪剤や一時染毛剤などの使用においては基本的には認められる。 ただし、審査員によりモデル犬に著しく危険の及ぶ行為と判断される場合は即刻、その行為の制止と厳重注意を行うものとする。

中間休憩

1)モデル犬の負担の考慮して規定時間120分における開始60分後に10分間の休憩時間を設ける。
2)休憩時間の間は施術を中断すること。
3)休憩時間の間は静かに退席し、モデル犬のトイレ等を済ませる事も許可する。
4)出陳者は必ず休憩時間内に自分の位置についている事。

早期退席

1)出陳者は規定時間内においても施術をすべて終了した場合、競技を終了することができる。
2)競技を終了する場合、静かに挙手をし、審査員の審査を受けてることができる。
3)早期に終了した出陳者にはボーナスポイントが与えられる。
4)一度、終了を宣言した場合、再度、競技に戻ることはできない。
5)早期終了した出陳者は審査終了後、静かに退席することができる。

審査方法

1)出陳者に対して公平性のある審査方法として以下の様に行う。
2)審査員=菊池 亮、中島 秀輔
3)出陳者との関係性をリサーチ。
4)出陳者それぞれに対し、関係性の低い方が『メインジャッジ』、もう一方が『サブジャッジ』とし、その審査割合を「7:3」と定める。
5)「出陳者それぞれのメインジャッジは誰か？」ということは競技会当日にテーブルに記載する。
6)審議を行う場合においても、対象出陳者のメインジャッジが常に優位性を持って行う。